ホームヘルプサービス事業

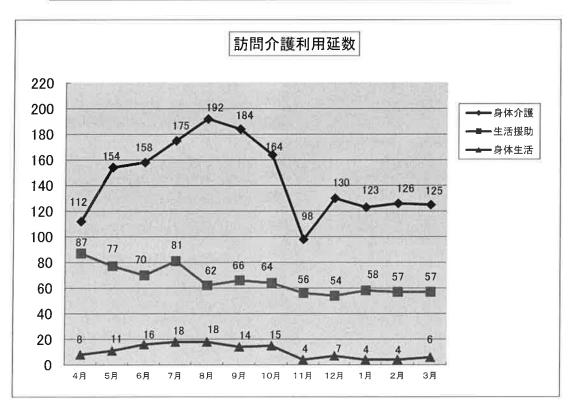
介護保険法に基づき、65歳以上の方で、要支援1以上のご利用者に対して、家事援助及び身体介護・複合サービスを行う事により、自立した生活ができるよう援助させて頂きます。

(1)事業開始年月日 平成12年1月1日

(2)営業時間等 午前8時30分~午後6時

(3)令和4年度月別利用状況

	和田本中米	利用者延数			到田花叶四
	利用者実数	身体介護	生活援助	身体生活	利用延時間
4月	22	112	87	8	180:15
5月	23	154	77	11	196:45
6月	22	158	70	16	203:30
7月	21	175	81	18	218:45
8月	21	192	62	18	216:45
9月	21	184	66	14	206:45
10月	21	164	64	15	196:30
11月	23	98	56	4	133:30
12月	21	130	54	7	170:45
1月	21	123	58	4	157:30
2月	19	126	57	4	156:15
3月	19	125	57	6	154:45
合 計	254	1,741	789	125	2, 192:00



(4)年間目標:評価

令和4年度 ホームヘルパー年間目標

- 1 ご利用者様の潜在能力を活かし、その人らしさを大切に支援する
 - ○ご利用者様の思いをよく理解して寄り添った支援を心掛ける
- ○他職種との連携を図り、円滑にサービスをすすめる
- ○認知症状に合わせた援助を心掛け、事故防止を意識して援助する
- 2地域の同事業者と情報共有し、業務の活性に努める
 - ○宇陀けあネットを活用し、他職種との連携を図る
- 3働きやすい職場環境づくり
 - 〇ヘルパー間で気づいたことは確認・検討・改善し合う
 - ○面談によるメンタルヘルス

【年間目標に対する評価】

ご利用者様の表情や言動、生活環境などから生活の様子をよく観察し、変化がみられるとヘルパー間で注意を払いながら支援してきた。ご利用者様の出来る動作は声掛けや見守りし、出来ない部分を援助することで生活が維持できるよう援助を心掛けた。コロナ禍でご利用者様によっては認知症状の進行が顕著になるケースもあり、ADLの低下など状況に合わせた対応を常に検討しなければならなかった。会話する話題も今までの生活にまつわる事や懐かしい思い出話、関心を持って得意としてきたことなどで気分をほぐし、サービスを和やかに進めることができた。

また、福祉用具の活用もケアマネージャーと検討し、利用することで、安全な動作が出来たり、転倒予防に繋げられた。

地域の同サービス事業者との交流を兼ねた研修会もコロナ禍のため開催されず、参加出来なかった。今後、困難事例などの意見交換や参考になる部分を学びたいと思う。

また、働きやすい職場環境づくりでは、コロナ感染予防でサービス中止になることも多くあったが、ヘルパー間で気づいたことや課題になることがあると、すぐ検討し合えるよう意見交換したり、サービスで実践できるよう連携していくなど常に情報共有を図ってきた。ヘルパー間の連携でサービスが円滑に進められることにより、仕事のしやすさを感じ、ヘルパーのモチベーションにもつながっている。今後も他職種との連携を図り、ご利用者様の思いや目線に合わせたサービスを提供していくことで安心して過ごせる生活が継続できるよう支援していきたい。

令和5年度 ホームヘルパー年間目標

- 1 ご利用者様の思いを尊重し、自立支援を心掛ける
 - 〇その人らしさを尊重し、意向に合わせた援助を心掛ける
 - ○ご利用者様それぞれの潜在能力を考慮しながら援助する
 - 〇安心して暮らせる生活環境を心掛ける
- 2地域の関係事業所と情報共有し、業務の活性化を図る
 - 〇宇陀けあネットを活用で連携を図る
 - 〇介護職の人材確保に向けた活動
- 3働きやすい職場環境づくり
 - 〇人材の確保
 - 〇ヘルパー間での業務意識の統一
 - ○整理整頓